

高耐候 超低汚染 2液弱溶剤形アクリルシリコン樹脂塗料

セラMシリコンⅢ

JIS K 5658 建築用耐候性上塗り塗料2級

Cera M Silicone III

適用素材 コンクリート、モルタル、サイディングボード、一般鉄部等



セラミック変性樹脂により優れた耐候性と超低汚染性を発揮し、

長期にわたり建物や鋼構造物を保護します。

セラMシリコンⅢ

Cera M Silicone III

関西ペイントのセラミック変性樹脂により優れた耐候性と超低汚染性を発揮し、長期にわたり建物や鋼構造物を保護します。

特長

1 優れた低汚染性 付着した汚れと塗膜の間に雨水が入り、汚れを洗い流すことで美観を長期にわたり維持します。

2 高い耐候性 JIS K 5658 建築用耐候性上塗り塗料2級に合格した高耐候な塗膜が建物や鋼構造物の資産価値を守ります。

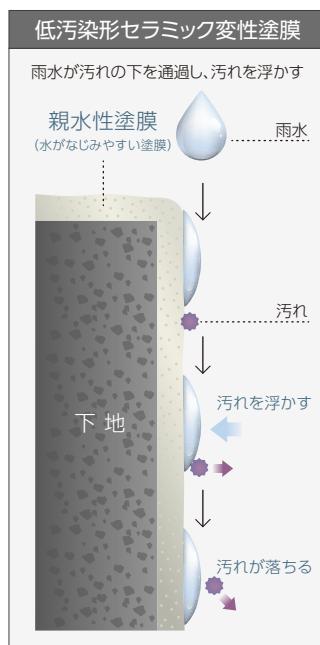
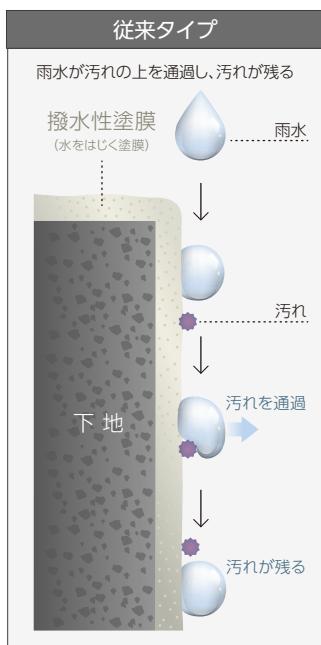
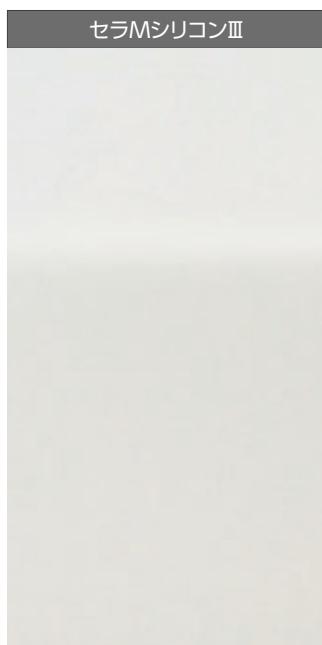
3 抜群の仕上り性 肉厚感のある塗膜が優雅な美しさを演出します。

4 防カビ・防藻性 防カビ・防藻剤の効果により、カビや藻の繁殖を抑えます。

低汚染性(雨水による汚れの洗浄効果)

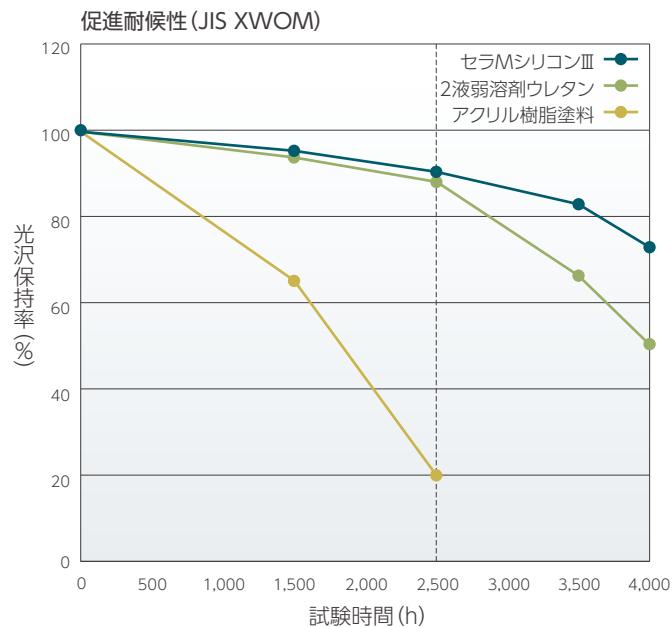
屋外バクロ試験結果(一年半バクロ 当社比)

低汚染のメカニズム



高耐候性

塗膜は劣化とともに、つや（光沢）が低下していきます。
つやの低下速度がゆるやかな程、塗膜の耐候性が高いことを表します。



JIS規格試験 試験結果

JIS K 5658 建築用耐候性上塗り塗料 2級の物性試験

| 試験項目 | 結果 | 規定 |
|---------------|---------|--|
| 容器の中での状態 | 合格 | 主剤・硬化剤ともかき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になるものとする。 |
| 乾燥時間 | 23°C 合格 | 8時間以下 |
| | 5°C 合格 | 16時間以下 |
| ポットライフ | 合格 | 5時間で使用できるものとする。 |
| 塗膜の外観 | 合格 | 塗膜の外観が正常であるものとする。 |
| 隠ぺい率% (白及び淡色) | 98 | 90以上 |
| 鏡面光沢度 (60度) | 84 | 70以上 |
| 耐衝撃性(落球式) | 合格 | おもりの衝撃で塗膜に割れ及びはがれが生じてはならない。 |
| 付着性(クロスカット法) | 合格 | 分類1以下であるものとする。 |
| 重ね塗り適合性 | 合格 | 重ね塗りに支障があつてはならない。 |
| 耐酸性 | 合格 | 酸に接したとき異常がないものとする。 |
| 耐アルカリ性 | 合格 | アルカリに接したとき異常がないものとする。 |
| 耐湿潤冷熱繰返し性 | 合格 | 湿潤冷熱繰返しに耐えるものとする。 |
| 促進耐候性 | 合格 | キセノンランプ照射1200時間で、塗膜に割れ・はがれ・ふくれがなく、光沢保持率は80%以上で、色の変化の程度が見本品に比べて大きくなく、白亜化の等級が1以下とする。 |
| 屋外暴露耐候性 | 合格 | 光沢保持率が40%以上で、試料の色差が見本品の色差と比較して大きくなく、白亜化の等級が、2.1または0である。 |

この試験結果は、艶有りのものです。

防カビ性・防藻性 (カビ・藻の繁殖抑制効果)

防カビ性

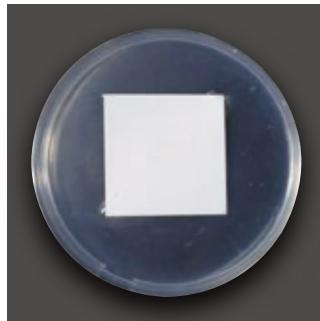


セラMシリコンIII

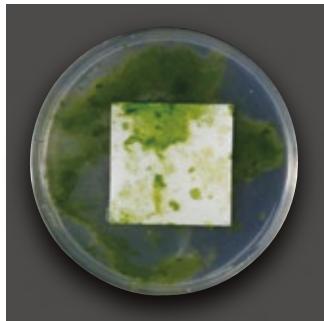


アクリル樹脂塗料
防カビ・防藻剤を配合しない一般塗料

防藻性



セラMシリコンIII



アクリル樹脂塗料
防カビ・防藻剤を配合しない一般塗料

素材 (旧塗膜) 適性

| 素材 | 適性下塗 |
|--------------|---|
| コンクリート | |
| モルタル | マルチタイルコンクリートプライマーEPO、エポMシーラー、浸透形Mシーラーなど |
| スレート | |
| PC板 | |
| 押出成型板 | エポMシーラー、浸透形Mシーラー、マルチタイルコンクリートプライマーEPO |
| ブロック・ALC | アレスエアレスフライヤー |
| 木部 | カンペ1液M木部用下塗HG |
| 鉄部 | スーパーザウルスII |
| アルミニウム | スーパーザウルスII、エポマリンGX |
| 亜鉛めっき | |
| 硬質塩ビ・FRP | 不要(研磨・脱脂必須) |
| 窯業系サイディングボード | アレスポリマーレジン、アレス水性エポレジン |
| シーリング材 | シープラ |

| 旧塗膜 | 適性下塗 |
|-----------------|-----------------------------------|
| 吹付タイル | |
| スタッコ | アレスホルダーGII、アレスホルダーゼ、アレスシリコンクラフトなど |
| リシン | |
| 焼付塗料(メラミン・アクリル) | スーパーザウルスII、エポマリンGX |
| 合成樹脂調合ペイント | スーパーザウルスII |

*この他の仕様を組むことが可能です。詳細については弊社係員までお問い合わせください。

| 荷姿等 | 容量 |
|----------------|---|
| セラMシリコンIII | 1.6kgセット (ベース / 13.7kg : 硬化剤/2.3kg)、弾性硬化剤/2.3kg 3.5kgセット (ベース / 3.0kg : 硬化剤/0.5kg) |
| セラMシリコンIII 中塗り | 1.6kgセット (ベース / 14.5kg : 硬化剤/1.5kg)、弾性硬化剤/1.5kg 4kgセット (ベース / 3.6kg : 硬化剤/0.4kg) |

| 色 | 白・各色(7分艶、5分艶、3分艶) |
|---|-------------------|
|---|-------------------|

標準塗装仕様

■コンクリート・モルタル・スレート面

旧塗膜のテクスチャーを変えた塗替え

| 工 程 | 塗料名・処置 | 標準所要量 (kg/m ² /回) | 塗装間隔 (23°C) | 塗装方法 | 希釈率 (重量%) |
|-----------------------|---|---------------------------------|----------------|-----------------|---------------|
| 素地調整 | クラック、鉄筋の露出漏水などの部分に適切な処理を施す。 劣化塗膜をケレン工具(皮スキ、ワイヤーブラシ)で除去し、 ホコリ、汚れなどを高圧水洗で取り除き乾燥した清浄な面とする。 | | | | |
| 下地調整材 (下塗) (中塗) | アレスホルダーGII 上水 | 0.8~1.5 | 8時間以上 7日以内 | 多孔質 ローラー | 1~5 |
| 中 塗 | セラMシリコンⅢ中塗 (ベース:硬化剤=10:1) 塗料用シンナーA | 0.12 0.14 | 4時間以上 7日以内 | ハケ、ローラー エアレス | 5~15 10~30 |
| 上 塗 | セラMシリコンⅢ (ベース:硬化剤=6:1) 塗料用シンナーA | 0.12 0.14 | — | ハケ、ローラー エアレス | 0~10 5~10 |

旧塗膜のテクスチャーを活かした塗替え

| 工 程 | 塗料名・処置 | 標準所要量 (kg/m ² /回) | 塗装間隔 (23°C) | 塗装方法 | 希釈率 (重量%) |
|-----------------------|---|---------------------------------|----------------|-------------------------|----------------------|
| 素地調整 | クラック、鉄筋の露出漏水などの部分に適切な処理を施す。 劣化塗膜をケレン工具(皮スキ、ワイヤーブラシ)で除去し、 ホコリ、汚れなどを高圧水洗で取り除き乾燥した清浄な面とする。 | | | | |
| 下地調整材 (下塗) (中塗) | アレスホルダーGII 上水 | 0.3~0.5 0.7~1.0 0.7~1.2 | 8時間以上 7日以内 | 中毛ローラー リシンガン エアレス | 5~10 7~10 7~15 |
| 中 塗 | セラMシリコンⅢ中塗 (ベース:硬化剤=10:1) 塗料用シンナーA | 0.12 0.14 | 4時間以上 7日以内 | ハケ、ローラー エアレス | 5~15 10~30 |
| 上 塗 | セラMシリコンⅢ (ベース:硬化剤=6:1) 塗料用シンナーA | 0.12 0.14 | — | ハケ、ローラー エアレス | 0~10 5~10 |

平滑仕上げ

| 工 程 | 塗料名・処置 | 標準所要量 (kg/m ² /回) | 塗装間隔 (23°C) | 塗装方法 | 希釈率 (重量%) |
|------|---|---------------------------------|----------------|-----------------|---------------|
| 素地調整 | エフロ・レイターン・ゴミ・汚れなどは、ワイヤーブラシ・サンドペーパー・ウエスを使用して除去し、乾燥した清浄な面とする。 | | | | |
| 下 塗 | 浸透形Mシーラー (ベース:硬化剤=4:1) | 0.14 0.18 | 4時間以上 7日以内 | ローラー エアレス | 無希釈 |
| 中 塗 | セラMシリコンⅢ中塗 (ベース:硬化剤=10:1) 塗料用シンナーA | 0.12 0.14 | 4時間以上 7日以内 | ハケ、ローラー エアレス | 5~15 10~30 |
| 上 塗 | セラMシリコンⅢ (ベース:硬化剤=6:1) 塗料用シンナーA | 0.12 0.14 | — | ハケ、ローラー エアレス | 0~10 5~10 |

■一般鉄部(塗替え)・亜鉛メッキ面

| 工 程 | 塗料名・処置 | 標準所要量 (kg/m ² /回) | 塗装間隔 (23°C) | 塗装方法 | 希釈率 (重量%) |
|------------|--|---------------------------------|----------------|-----------------|---------------|
| 素地調整 | 劣化している塗膜はケレン工具で除去する。 さびは電動工具やサンドペーパーなどで用いて除去し、清浄な面とする。 素地露出部は工程2の下塗りを用いて補修塗りを行う。 | | | | |
| 亜鉛 メッキ面 | 全面清掃、脱脂、自荒しを行い、清浄な面とする。 白さびなどはワイヤーブラシ・サンドペーパーなどで除去する。 | | | | |
| 下 塗 | スパーーザウルスⅡ (ベース:硬化剤=9:1) 塗料用シンナーA | 0.14 0.17 | 4時間以上 7日以内 | ハケ、ローラー エアレス | 0~10 0~10 |
| 中 塗 | セラMシリコンⅢ中塗 (ベース:硬化剤=10:1) 塗料用シンナーA | 0.12 0.14 | 4時間以上 7日以内 | ハケ、ローラー エアレス | 5~15 10~30 |
| 上 塗 | セラMシリコンⅢ (ベース:硬化剤=6:1) 塗料用シンナーA | 0.12 0.14 | — | ハケ、ローラー エアレス | 0~10 5~10 |

【弾性仕上げの場合】

■コンクリート・モルタル面

複層仕上げ

| 工 程 | 塗料名・処置 | 標準所要量 (kg/m ² /回) | 塗装間隔 (23°C) | 塗装方法 | 希釈率 (重量%) |
|--------------|---|---------------------------------|----------------|---------------------|---------------|
| 素地調整 | エフロ・レイターン・ゴミ・汚れなどは、ワイヤーブラシ・サンドペーパー・ウエスを使用して除去し、乾燥した清浄な面とする。 | | | | |
| 新 設 | エフロ・レイターン・ゴミ・汚れなどは、ワイヤーブラシ・サンドペーパー・ウエスを使用して除去し、乾燥した清浄な面とする。 | | | | |
| 塗 替 | クラック、鉄筋の露出漏水などの部分に適切な処理を施す。 劣化塗膜をケレン工具(皮スキ、ワイヤーブラシ)で除去し、ホコリ、汚れなどを高圧水洗で取り除き乾燥した清浄な面とする。 | | | | |
| 下 塗 | エコカチオンシーラー | 0.13 0.17 | 2時間以上 7日以内 | ローラー エアレス | 無希釈 |
| 中 塗 | アレスゴムタイルニューラフ 上水 | 0.6~1.3 | 2時間以上 7日以内 | リシンガン 4.5~6.5mmφ | 3~10 |
| パターン塗 | アレスゴムタイルニューラフ 上水 | 0.6~1.3 | 8時間以上 7日以内 | タイルガン 6~8mmφ | 0~3 |
| 上 塗 (1回目) | セラMシリコンⅢ中塗 (ベース:弾性硬化剤=10:1) 塗料用シンナーA | 0.12 0.14 | 4時間以上 7日以内 | ハケ、ローラー エアレス | 5~15 10~30 |
| 上 塗 (2回目) | セラMシリコンⅢ (ベース:弾性硬化剤=6:1) 塗料用シンナーA | 0.12 0.14 | — | ハケ、ローラー エアレス | 0~10 5~10 |

※ 弾性仕上げの場合、弾性硬化剤を使用してください。

※ 上記各仕様書の所要量は、一般的な条件での参考値です。

したがって、被塗物の形状や塗装条件によって増減することがあります。

※ 中塗～上塗の代わりに上塗～上塗での塗り重ねも可能です。

汚れについて

①カビ、藻、シーリング材のにじみ、鉄サビに起因する汚れは、従来塗料と同等のレベルです。

②塗装後3日～1週間から落ちはじめ、その間に付着した汚れも徐々に除去されます。但し建物の構造上、本来の低汚染性能が十分に発現しない場合があります。雨掛けの少ない被塗面や、汚れが大量に流れ落ちる被塗面では、十

施工上の注意事項

ありますので、ご注意ください。

①つや調整品の場合、はけ、ローラーでの塗装ではむらが出やすいため、スプレー塗装を推奨します。

②やわらぎ品の場合、吸い込み差によるむらを軽減するため上塗りの1回目に「つや有り品」、2回目に「つや調整品」を推奨します。

③つや調整品の場合、素地の表面形状、素地の劣化度合、膜厚、乾燥条件などにより、実際のつやと異なって見える場合があります。事前の試し塗りを推奨します。

④異なる色を塗り重ねる場合は、二三次防のため、塗り重ね乾燥時間を1日以上確保してください。

⑤スチールドアなど、ゴムパッキンと接触する部分は、粘着することができますので、塗装は避けてください。

⑥塗装用具の洗浄にはラバーカーシナーを使用して下さい。

⑦ベース、硬化剤は温度の影響を受けやすいので、必ず密閉して冷暗所に保管して下さい。又、ベースと硬化剤を混合したものは、8時間以内(23°C)に使い切ってください。

⑧汚れ、傷などにより補修塗りが必要な場合がありますので、使用塗料の控えは必ず持っておき、同一塗料、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。

⑨漆喰仕上げの際、雑巾・エヌス等で強くすると、色落ちや艶変化が起こります。

⑩シーリング面への塗装は薄めで行ってください。汚染や粘着、ワレの原因となります。やむをえず塗装する場合には、ノンブリードタイプのシーリング材を用いることとし、シープラ又はマルチタイルコンクリートプライマーEPOをハイドランダーとして挟むことで不具合を軽減することができます。

⑪蓄熱材仕上げの際、雑巾・エヌス等で強くすると、色落ちや艶変化が起こります。

⑫アクリルトップ等の漆喰は極めてくだけやすいです。漆喰や粘着、ワレの原因となります。やむをえず塗装する場合には、ノンブリードタイプのシーリング材を用いることとし、シープラ又はマルチタイルコンクリートプライマーEPOをハイドランダーとして挟むことで不具合を軽減することができます。

⑬蓄熱材仕上げの際、雑巾・エヌス等で強くすると、色落ちや艶変化が起こります。

⑭本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。

⑮本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、立看板などでベンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体质の方が接することのないようにしてください。

下記の注意事項を守ってください。詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照ください。

取り扱い作業中、乾燥とともに換気のよい場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸氣・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・防護めがね・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。

吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。

又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。

皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、顔巾・エリ巻きタオル・長袖の作業着・前掛を着用すること。

火気を避けること。静電気放電に対する予防対策を講ずること。

予 火災を発生しない工具・防爆型の電気機器・換気装置・照営機器等を使用すること。

防 煙火又は高温の白熱体に噴霧しないこと。

搬 本來の目的以外に使用しないこと。

指定材料以外のものは混合(多液体の混合・希釈等)しないこと。

缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。

取り扱い後は、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。

使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。

本品の付いた布類や本品のかず等は水に浸して処分すること。

目にに入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。

皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落し、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。

対 吸 入 し た 場 合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。

対 飲み込 み し た 場 合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないことを。

漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ワイヤー)等で吸引取り、拭き取ること。

火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を使用すること。

指定容器を使用し、完全にふたをして温湿度のない場所に保管すること。直射日光、雨さらしさを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

本品の付いた布類や本品のかず等は、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壤等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)

本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。

例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでベンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体质の方が接することのないようにしてください。

関西ペイント販売株式会社 www.kansai.co.jp

北海道 TEL(0133)64-2424 FAX(0133)64-5757
東 北 TEL(022)287-2721 FAX(022)288-7073
北関東信越 TEL(028)637-8200 FAX(028)637-8223

東 京 TEL(03)5711-8905 FAX(03)5711-8935
中 部 TEL(052)262-0921 FAX(052)262-0981
大 阪 TEL(06)6203-5701 FAX(06)6203-5603

中 国 TEL(082)262-7101 FAX(082)264-3285
四 国 TEL(0877)24-5484 FAX(0877)24-4950
九 州 TEL(092)411-9901 FAX(092)441-3339

(20年10月04刷PKO) カタログNo.744